

# 日本救急医療財団の活動報告

橋本 昌男 事務局長

2023年2月中旬から4月上旬までの財団の活動について報告します。

## 総務部門に関する報告

平田 真教 総務部

### 1. 常任役員会開催について

2月28日（金）15時00分より財団会議室において、常任役員会を開催しました。議題は、①令和4年度収支予算書（変更案）、②令和5年度事業計画及び収支予算書（案）、③第23回評議員会の開催、④就業規則の改正等であり、その他報告事項と併せて審議しました。

常任役員会終了後「第46回救急救命士国家試験新型コロナウイルス感染症対策会議」を開催しました。「令和4年度厚生労働省所管医療関係職種国家試験における新型コロナウイルス感染症対策について」に基づき、今年度変更になった取扱いを含めて対策を確認し、第46回救急救命士国家試験を全体として安全・安心を確保したうえで実施することとしました。

### 2. 第24回理事会開催について

3月14日（火）14時10分よりTKPカーデンシティ御茶ノ水において第24回理事会を開催しました。議長には、定款第37条により横田裕行理事長があたり、議事録署名人には、定款第44条第2項により出席した池田ひろみ、植月道雄監事があたることを確認しました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

#### <議題>

- (1) 令和4年度収支予算書(変更案)について
- (2) 令和5年度事業計画及び収支予算書(案)について
- (3) 第23回評議員会の開催について
- (4) 就業規則の改正等について

#### <報告事項>

- (1) 評議員の現員数について
- (2) 役員の選任について
- (3) 第25回理事会の招集について
- (4) 第46回救急救命士国家試験の応募状況について
- (5) 救急蘇生法普及推進事業委員会について

- (6) 任期満了に伴う次期役員の再任依頼について
- (7) 理事長、副理事長、常務理事の選定について
- (8) 救急の日のイベントについて

### 3. 第22回評議員会開催について

3月14日（火）16時00分よりTKPカーデンシティ御茶ノ水において第22回評議員会を開催しました。

議長には、定款第20条により相川直樹評議員が互選され、議事録署名人には定款第27条第2項により佐藤枢評議員と島崎修次評議員が選出されました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

#### <議題>

- (1) 評議員の現員数について
- (2) 役員の選任について

#### <報告事項>

- (1) 令和4年度収支予算書(変更案)について
- (2) 令和5年度事業計画及び収支予算書(案)について
- (3) 第23回評議員会の開催について
- (4) 就業規則の改正等について
- (5) 第46回救急救命士国家試験の応募状況について
- (6) 救急蘇生法普及推進事業委員会について
- (7) 任期満了に伴う次期役員の再任依頼について
- (8) 理事長、副理事長、常務理事の選定について
- (9) 救急の日のイベントについて

## 試験免許部門に関する報告

阿部 光雅 試験免許部

### 1. 第46回救急救命士国家試験実施状況

3月12日（日）に全国5試験地（北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施しました。

受験申込者は3,329名で、そのうち3,255人が受験し、3,054人が合格しました。（合格率は93.8%）

合格者の発表は、3月31日（金）午後2時に厚生労働省及び財団のホームページに試験地、受験番号を掲示して発表するとともに、国家試験問題の正答肢を掲載しました。

また、受験者全員に成績通知書（合格者には合格証書）を郵送しました。

救急救命士名簿登録は、合格者の申請に基づき行われ、救急救命士免許証を交付することとなっています。

1. 令和4年度救急医療業務実地修練等研修事業について

○医療機関に所属する救急救命士業務実地修練（施設研修） ※令和4年度より新規研修

医療機関に所属する救急救命士業務実地修練における施設研修を、令和5年2月13日(月)から14日(火)までの2日間実施しました。

施設研修については、実際に救急救命士が勤務する施設研修病院（(高度)救命救急センター）に受講者が赴き研修を受講することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者と施設研修病院間をオンライン（Zoom）で結んで開催しました。

施設研修プログラムでは、①医療機関に所属する救急救命士への教育に関すること、②医療機関に所属する救急救命士の業務と事後検証に関すること、③医療機関に所属する救急救命士のキャリアアップに関すること、④救急医療機関で行われている診療の現状、⑤救急医療機関で行われている感染症対策・安全対策の現状、⑥救急医療機関における災害対応に関すること、について各施設研修病院より研修を実施して頂きました。

実施にあたっては、施設研修病院（9病院）のご協力のもと受講者を3班に分け各班4病院（AM、PM各1病院×2日間）を受講して頂き、各班が全ての施設研修プログラムを受講できるよう各施設研修病院が研修プログラムから1項目から3項目選定し、各病院の特色を活かしたレクチャー及びディスカッションを実施して頂きました。

受講者は、各施設研修病院のレクチャー及びディスカッションに意欲的に参加するとともに、活発に質問するなど大変有意義な施設研修となりました。

○看護師救急医療業務実地修練（施設研修）

看護師救急医療業務実地修練における施設研修を、令和5年2月15日(水)から17日(金)までの3日間実施しました。

例年、施設研修については、受講者が施設研修病院（(高度)救命救急センター）に赴き研修を受講していたところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も昨年度同様、受講者と施設研修病院間をオンライン（Zoom）で結んで開催しました。

施設研修プログラムでは、①救急部門の紹介（組織体制、人員構成、設備、病床数等）、②救急看護師の役割と実践（認定看護師・専門看護師・診療看護師・特定行為研修修了者等の救急領域スペシャリストの役割と実践も含む）、③救急看護師の育成、教育内容、④多職種協働、チーム医療の実際、⑤トリアージの実際、⑥ドクターヘリ・ドクターカーの紹介、について各施設研修病院より研修を実施して頂きました。

実施にあたっては、施設研修病院（15病院）のご協力のもと受講者を3班に分け各班6病院（AM、PM各1病院×3日間）を受講して頂き、各班が全ての施設研修プログラムを受講できるよう各施設研修病院が研修プログラムから1項目から3項目選定し、各病院の特色を活かしたレクチャー及びディスカッションを実施して頂きました。

受講者は、各施設研修病院のレクチャー及びディスカッションに意欲的に参加するとともに

に、活発に質問するなど大変有意義な施設研修となりました。

### ○医師救急医療業務実地修練（施設研修）

医師救急医療業務実地修練における施設研修を、令和5年2月27日（月）から28日（火）までの2日間実施しました。

例年、施設研修については、受講者が施設研修病院（（高度）救命救急センター）に赴き研修を受講していたところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も昨年度同様、受講者と施設研修病院間をオンライン（Zoom）で結んで開催しました。

施設研修プログラムでは、①救急部門の運営・管理に関する事、②地域において、救急医療施設が果たすべき役割（ドクターカー・ドクターヘリ、メディカルコントロールなど）に関する事、③医師、看護師、救急救命士、その他救急部門スタッフへの指導・教育に関する事、④災害・テロ対策に関する事、⑤その他、最新の取り組みや救急医療の動向に関する事、について各施設研修病院より研修を実施して頂きました。

実施にあたっては、施設研修病院（13病院）のご協力のもと受講者を3班に分け各班4病院（AM、PM各1病院×2日間）を受講して頂き、各班が全ての施設研修プログラムを受講できるよう各施設研修病院が研修プログラムから1項目から3項目選定し、各病院の特色を活かしたレクチャー及びディスカッションを実施して頂きました。

受講者は、各施設研修病院のレクチャー及びディスカッションに意欲的に参加するとともに、活発に質問するなど大変有意義な施設研修となりました。

## 2. 研修教育事業委員会について

令和5年3月15日（水）にオンライン（Zoom）会議にて、今年度第2回目の研修教育事業委員会（委員長：溝端康光先生）を開催しました。

令和4年度に実施した救急医療業務実地修練事業に係る各研修・講習会の実施報告等について、受講者のアンケート結果等を踏まえ各研修・講習会の評価等（オンラインによる研修実施のあり方等を含む）を、各委員（各研修プログラム責任者等）により活発な意見交換がなされ、研修スケジュール、研修内容等が予定どおり実施できたことを確認しました。

## 3. AEDの内部データ利用・検証に関する作業部会（分析・検証）について

AEDの内部データ利用・検証に関する作業部会において、昨年度取り纏められた報告書に基づき、実際のAED使用事例の報告があった内部データの分析・検証体制の整備について検討するため、10月17日（月）の令和4年度第1回同作業部会、11月24日（木）の第2回同作業部会に続き、第3回同作業部会を2月22日（水）に開催し、オートショックAEDの実際の内部データの確認を踏まえた検証を実施しました。

会議では各委員からの活発なご意見交換がなされ、引き続き内部データの分析・検証体制について検討し、体制整備を図る事としています。